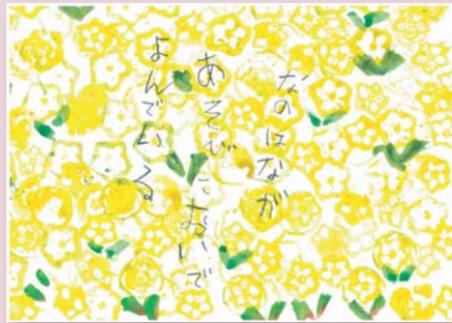
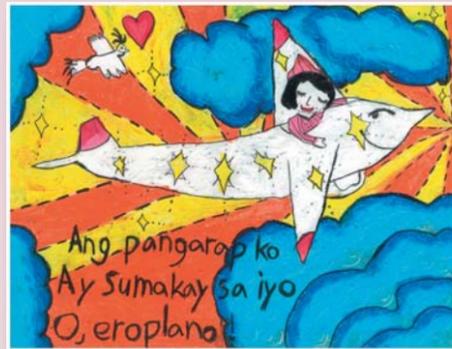




第13回テーマ「夢」の作品



なのはなが
あそびにおいて
よんでいる
Rapeseed flowers
Calling
Come and play with us
村上 穂積 4歳 Japan (日本)



夢はひとつ
のってみたいな
すてきなひこうき！
It's my only dream
To have the chance to board you
Wonderful airplane!
Ang pangarap ko
Ay sumakay sa iyo
O, eroplano!
Keiel Caroline Villanueva 8歳 Philippines (フィリピン)

作品には、その国のお国柄や社会情勢、異なるものの見方が反映されますが、ハイクと絵と一緒に鑑賞することで、それらがより理解されやすくなります。私たちは、ハイクを通して世界の子どもたちに、日本や日本文化を理解してもらうこと、広く世界の人々と感動を分かち合い、相互理解を深めてもらうことを期待して、ハイクコンテストに取り組んでいます。

ていまず。回を重ねるごとに参加国・地域は増えており、ハイクを通じた子どもたちの交流が深まっています。2013年から2014年にかけて、「夢」をテーマに開催した第13回コンテストには、初めて応募のあったオーストラリア、バングラデシュ、ラトビア、スリランカ、ウクライナを含む34の国と地域から1万9000の素晴らしい作品が寄せられました。

また、初の大会開催となったアルメニア、クロアチア、フィンランド、モリゴル、ベトナム、トルコを含め、世界の国・地域で31の大会が開催され、スペイン大会は「日本スペイン交流400周年」、ベトナム大会は「日本ベトナム外交関係樹立40周年」のプロジェクトとして実施されるなど、日本と各国を繋ぐ公式行事にも指定されています。JAL財団は、JALと連携しつつ、世界子どもハイクコンテストをはじめとする国際交流と相互理解を促進する公益事業を、これからも継続して参ります。

「世界こどもハイクコンテスト」

公益財団法人JAL財団とJALが長年にわたり取り組む「世界こどもハイクコンテスト」。日本のみならず、世界の子どもたちへハイク創作の楽しさを広め、子どもたちの感性を養いながら、世界で最も短い「詩」といわれるハイクを生み出した日本・日本文化への理解と、国際交流を促進することを目的としたこの活動について、ご紹介します。

※「ハイク」とは？日本語の五七五で詠まれる俳句に対し、海外の言語で詠まれる三行詩を「ハイク」としています。



上/第13回世界こどもハイクコンテストシンガポール大会表彰式の様子。下/第11～13回世界こどもハイクコンテストの優秀作品を集めた『地球歳時記』、『俳句の作り方(英語版)』

日本文化を海外へ紹介する活動からスタート

東京オリンピックが開かれた1964年、JALは日本文化を海外へ紹介する企画のひとつとして、米国のラジオ音楽番組を通じて「ハイクコンテスト」を行いました。この企画には、全米から4万1000もの作品が投稿され、これが今日の「世界こどもハイクコンテスト」へと繋がる第一歩となりました。その後、英国と米国で大学生向けのハイクコンテストを実施。さらに1986年にカナダ・バンクーバーで開催された「国際交通博覧会」、また

ハイクを通して子どもたちの交流が深まる

世界こどもハイクコンテストの作品は、ハイクと絵で構成されています。子どもたちに豊かな感性を育ててほしいという願いから、ハイクだけでなくハイクを詠んだときの目の前の光景や記憶にある情景を、自らの手で描き留めてもらうことにしました。

1988年にオーストラリア・ブリスベンで開催された「レジャー博覧会」において、日本の子どもたちが詠んだハイクを紹介するとともに、各国の子どもたちを対象にハイクコンテストを行いました。いずれのコンテストにおいても、世界最短の詩といわれるハイクに大きな関心が集まり、これによりハイクが世界に受け入れられるという確信を得ることとなりました。そして、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」に合わせ、同年に設立されたJALからハイク事業を引き継いだJAL財団(当時は「日航財団」)が、日本および世界の15歳以下の子どもたちを対象に第1回世界こどもハイクコンテストを開催。以後、JALとの連携の下、コンテストを2年に一度開催するとともに、その現地語の優秀作品に英訳、和訳をつけて『地球歳時記』として出版し、図書館、教育機関などに寄贈しています。

第14回世界こどもハイクコンテスト 2015-2016は、「朝」をテーマに開催します。

日本大会(日本語): 募集期間 2015年10月31日まで
世界大会(各国語): 募集期間 2015年9月1日～2016年2月15日
応募要項・送付先等の詳細は、JAL財団ホームページをご覧ください。

www.jal-foundation.or.jp

*世界こどもハイクコンテストの優秀作品と『俳句の作り方(各国語版)』は、JAL国際線ボーイング787機内エンターテインメント、またはJAL財団のホームページでご覧いただけます。

